

今週の主な News

1. 2024 総会の報告
2. 副会長就任にあたって
3. 常務理事就任にあたって
4. 事務局長就任にあたって
5. JANPIA 沖縄事業の経過報告

■2024 総会の報告

★概要

2024 年度(第 23 回)通常総会は 6 月 22 日(土)に東京スクエアガーデン 6 階シティラボ東京にて開催されました。正会員総数 170 名(6 月 15 日時点)に対して出席者数正会員 100 名(定款 28 条に準じた定足数: 85 名)で会は成立しました。

執行部提案の 3 議案(第 1 号議案 2023 年度事業報告及び収支決算について、第 2 号議案 2024 年度事業計画及び活動予算について、第 3 号議案 2024-2025 年度理事・監事・会長・名誉会長の選任について)について、審議が行われました。審議事項に関する質問は事前メールで受けた 1 件(財政収支バランスに関する執行部の考えを問う)でした。

3 議案に関する審議は、いずれも賛成多数で可決され、執行部の提案が承認されました。

★主要事業の計画

2024 年度の主要事業としては、第 19 回の全国まちづくり会議を 10 月 12 日(土)・13 日(日)に名古屋市の円頓寺商店街・那古野地区)で開催すること、休眠預金等活用事業にエントリーして、昨年度実施している「外国人とともに暮らし支えあう地域社会の形成」に加え「沖縄版 誰もが暮らし支えあう地域社会の形成」と「黒島地区の住宅の安全確保と 2 次避難者の帰還支援」が加わり 3 事業を実施することなどが計画されています。

★24/25 年度の体制

専務理事、常務理事、監事、事務局長が変わりました。

理事(新任 10 名): 井上雅子、金 玖淑、齋藤智香子、鈴木俊治、長野博一、野田明宏、三浦由理、諸岡勇一郎、矢口 哲也、安富 啓

理事(再任 30 名): 安藤裕之、内山 征、海野芳幸、江田隆三、加藤孝明、神谷秀美、木村 静、久保亨、小泉秀樹、小林真幸、近藤洋介、坂井 猛、園田 聡、高鍋 剛、高野 哲矢、谷村晃子、千葉葉子、中川智之、中西正彦、長谷川隆三、原 拓也、臂徹、平井一步、平下貴博、堀江 佑典、牧 敦司、益尾孝祐、山本一馬、山本俊哉、渡会 清治

名誉会長(再任): 伊藤滋

会長(再任): 山本俊哉 副会長: 江田隆三、

木村静(新)、坂井猛、高鍋剛、原拓也

常務理事: 千葉葉子(新)、牧 敦司

監事(新任): 石川岳男、田島 泰

■副会長就任にあたって: 木村 静

このたび JSURP 副会長に就任しました木村静です。私は 20 年以上、まちづくり、NPO、人材育成などの現場で情報発信・コミュニケーションに関わる仕事をしてきました。こうした経験を生かし JSURP の副会長として、広報面の強化に取り組んでいきます。インターネットによる情報の受発信が盛んになり、情報発信はマスメディアだけのものではなくになりました。誰もが発信できる一方で、誰もが受け取りたい情報を選んでいるという状況でもあります。出したい情報と、受け取りたい情報の間をつなぐ、編集者の役割が重要なポイントだと思っています。

私と JSURP の出会いは 12 年ほど前に遡ります。当時在籍していたシンクタンクの研究者として、JSURP 東日本大震災復興タスクフォース有志の方々(渡会さん、中川さん等)による研究レポート「東北復興は、次世代型まちづくりの手本を示せるのか」の制作に関わったことが契機でした。被災地域住民のコミュニティに入り込んで対話し、復興に寄り添う姿を間近で見て、「東京にもまちづくりに熱いひとたちがいる!」と感銘を受けました。その後、JSURP は私のサードプレイスとなり J's カフェに通っていた時期もありました。

私の原点のひとつとも言える JSURP がよりよいかたちで持続可能性を高め、社会に貢献できるよう活動に邁進します。どうぞよろしくお願いいたします。

■常務理事就任にあたって: 千葉葉子

このたび、5 年間務めた JSURP の事務局長を退任いたしました、千葉葉子です。会員の皆様、渡会専務理事・中川常務理事をはじめとする四役・理事のみなさん、そして増井さん、小谷さんをはじめとする歴代事務局長の方々に支えていただき、事務局長という大役を無事に終えることができましたこと、改めて感謝申し上げます。

7 月からは後任の浅見事務局長にバトンタッチし、私自身は財務担当の常務理事として引き続き四役の立場で団体運営に関わらせていただくことになりました。

JSURP は今年、認定 NPO として 10 年の節目を迎えます。組織が担うべき社会的責務も大きくなる一方で、JSURP の特色・強みは、研究会など会員の皆様の自発的な活動や、フラットで活発なやりとりができる関係性にあり、共益と公益の両面を併せ持つことだと感じています。

今後、私は公益活動に注力し、休眠預金活用事業の沖縄での取り組みなどを通じて、地域の社会課題の解決や関係者間の結び付け、地域の担い手の育成等に取り組んでいく予定です。

なお、お越しになる際は、事前にご連絡いただければ事務所にいるようにいたしますので、ご一報ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■JSURP 事務局長就任にあたって：浅見真人

みなさま、はじめまして。千葉事務局長の後を受け、あらたにJSURP 事務局長の任に就くこととなりました浅見真人と申します。

経歴を少し記しますと、生まれは大阪市、



2歳から三重県津市に移り、高校卒業後東京の大学に入學し、現在は横浜市西区に住んでおります。

大学創業後これまで40年ほど都内私立学校(幼稚園から大学院まで)の事務職の仕事をして参りました。とりわけ後半の20年ほどは学校法人の教育方針を具現化し広く広報するための施策、たとえば、音楽レクチャーコンサート・講演会・研修会等の企画を立て、教員・学生・職員と協力しつつ学内外に発信をし、出演交渉・イベント自体の運営・実行といった業務を担当してきました。また、学校法人の式典関連業務、文科省など外部官庁・団体からの調査への回答、墓参業務や創立記念式典の準備・運営への協力といった業務を担当しておりました。その他、学生との接点も多く、精神的に問題を抱える学生との面談、推薦入学学生などの学生団体の活動支援、サマーキャンプなどのお手伝い、教員とのパイプ役等、様々なサポートを行ってきていました。そのようなわけで、人対人の調整的な役割の仕事が多かったように思っております。

さてJSURPに就職させていただくまで、正直に申し上げて、私自身の中に「まちづくり」というwordはありませんでした。しかしながら、お世話になって1か月。ここまで千葉前事務局長や事務局の増井さんにご迷惑をおかけしながらも少しずつJSURPに触れる中、「まちづくり」といってもこれほど幅広い活動があるのか、とあらためて驚かされている日々です。と同時にまったく素人の域は出ませんが、「まちづくり」そのものに少しずつ興味が出てきます。「まちづくり」というwordはなかった、と書きましたが、個人的な趣味の範疇ですが、錦糸町の音楽を介するまちづくり、横浜市野毛地区の音楽祭、調布市の音楽祭など、「まちづくり」に関連することを聞いたことがあったなと思返しているところです。もちろん私は事務局ですからJSURPの活動が円滑になされるよう下支えの仕事がメインとなりますが、今後具体的な内容に少しでも関わればうれいな、と思っております。また、ふるさと津の町の再生についても何がしかのお手伝いができるような機会があればなどと、考えているところです。どうか今後とも、よろしく願い申し上げます。

■JANPIA 沖縄事業の経過報告

休眠預金等活用事業「沖縄版 誰もが暮らし支えあう地域社会の形成」の参加団体交流会が7月5日に那覇市のホテルサンパレス球陽館で開催されました。交流会には、JANPIA、資金分配団体(JSURP、南西地域産業活性化センター、沖縄県労働者福祉基金協会)、実行6団体、学識者、県・市・関係機関の関係者等多数が来場し、活発な交流が行われました。

交流会は、前半の約1時間半は事業の説明と実行6団体(しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄、女性を元気にする会、タコライスラバーズ、Island works、くじら寺子屋、おきなわ子ども未来ネットワーク)の各団体別の事業内容の説明が行われ、後半約2時間は会場参加者を交えたワークショップ「私たちの目指す社会について語ろう」を行いました。参加者が4つのテーブルに分かれ非常に活発なやりとりが行われ、時間を少し延長して最後の発表と講評に間に合わせました。



沖縄では様々な要因が背景となって女性の貧困問題・ひとり親家庭(シングルマザー)問題などが深刻な状況にあります。同時に、これらの問題に立ち向かうNPO等の団体、特に女性が主体となった支援団体の活動が活発で、今回のワークショップでもまさにそうした沖縄の現状の一端を見ることができました。

また、会場では地元沖縄の報道機関も最初から最後まで熱心に取材が行われ、翌日のテレビニュース、新聞報道で紹介されました。このテーマに対する注目度、そして今回の業務に対する注目度の高さが表れていると思います。

<https://approach.yahoo.co.jp/r/QUyHCH?src=https://news.yahoo.co.jp/articles/87e761d8682f1c9d3ed0f4df52a59c4ceceb5e&preview=auto>